

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

6

第829号

2025年6月10日発行

北海道の難読地名

神恵内

難読レベル

★★★★☆

奇岩「窓岩」(古宇郡神恵内村)

CONTENTS

3・4 令和7年度通常総会開催される

5~7 令和7年度事業計画が決定される

8 令和7年度上期北海道地区印刷協議会開催のご案内

8 業界のうごき

9・10 職場における熱中症対策強化のご案内

神恵内村

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。

令和7年度事業計画・収支予算を決定

令和7年度通常総会開催

令和7年度通常総会が、5月16日午後3時30分から札幌市中央区の札幌パークホテルで全道から組合員77人（代理出席を含む）が出席して開催され、令和6年度事業報告、同収支決算を承認し、令和7年度事業計画・同収支予算などを決定し、理事1人を補充選任した。



岸 昌洋 氏

最初に、岸理事長が、組合員、来賓に参加のお礼を述べたあと、「我々印刷業界は、コロナが明けたといっても大変厳しい状況にある。原材料の高騰、印刷マーケット自体がどんどん縮小していくような状況、世界情勢も非常に不安定な状況下にある。我々組合としても執行部を先頭に組合員の皆さんに少しでも有益な事業をということで、三役委員長会議・理事会を開催しているが、なかなか皆さんに組合に加入していることのメリットを伝えきれていないと理事長になってからずっと反省している。今日は総会ということで令和7年度1年間の我々執行部の活動がどのような状況下にあって、これから先、事業計画として今年度どのように進めていくのかということを皆さんに審議いただきたい。繰り返しになるがよりたくさんの皆さんにメリットを与えられるようにこれからも研鑽していきたい」とあいさつを述べた。

次に、来賓4人の紹介が行われた後、来賓を代表して2人からあいさつが述べられた。



酒井哲也 氏

酒井哲也経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長は、「2025年も既に4か月半を経過したが、物価高や人手不足といった従来からつづく課題に加え、アメリカによる一連の関税措置という問題も発生している。国内産業はもとより経済全体に広範囲に影響が及ぶのではないかと懸念されている。また一方で北海道においては次世代半導体の製造拠点の建設・稼働やデータセンターをはじめとするデジタル産業、GX関連産業などの集積に向けた活動が活発化するなど、我が国全体を牽引するようなプロジェクトが動いている。こういった動きを追い風として北海道のなかの企業・産業に波及させていくためには官と民が強く連携して人材や投資を呼び込むことや地域のそれぞれの強みを活かしたい

ような挑戦を促し、未来に向けた稼ぐ産業を育成強化していくことが重要と思っている。こうしたなかで貴組合においては長年にわたり道内印刷業の振興・発展を通じて、私たちの生活をより豊かなものとし、また地域のあらゆる産業の活動を支えてこられた。現在は情報メディアの多様化・印刷需要の変化等の課題が生じていると伺っているが、これまで時代の大きな変化のなかでも常に地域に根差し、情報コミュニケーション・文化を中心として活躍されてこられた皆さんに対する期待・役割は引き続き大きなものがある。北海道経済産業局としても皆さんが厳しい状況のなかでも未来に向けて取り組まれる前向きな挑戦を応援していく。皆さんには引き続き力添えを賜りたい。4月13日から大阪関西万博が開催されている。入場ゲートの混雑・通信環境・トイレの問題・食事が高い等々、未だに話題に事欠かないが、結構面白い、意外と見ごたえがあるという声もようやく聞こえるようになってきた。会期は10月13日までであるので、皆さんの来場を心から待っている。見どころも、突っ込みどころも満載の万博に是非、足を運んでいただければ大変幸いである」と述べた。



茶谷智子北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「印刷産業におかれては少子化や急速な高齢化等の社会の構造的な課題もあるが、エネルギーの価格、原材料もそうであるが、人手不足の対応などさまざまな大きな変化に対応を求められている。このような動きに対応されて組合におかれては経営改善・人材育成・労働環境整備の取り組みなどを積極的に行われており、役員や組合員の皆



茶谷智子 氏

展を通じて、私たちの生活をより豊かなものとし、また地域のあらゆる産業の活動を支えてこられた。現在は情報メディアの多様化・印刷需要の変化等の課題が生じていると伺っているが、これまで時代の大きな変化のなかでも常に地域に根差し、情報コミュニケーション・文化を中心として活躍されてこられた皆さんに対する期待・役割は引き続き大きなものがある。北海道経済産業局としても皆さんが厳しい状況のなかでも未来に向けて取り組まれる前向きな挑戦を応援していく。皆さんには引き続き力添えを賜りたい。4月13日から大阪関西万博が開催されている。入場ゲートの混雑・通信環境・トイレの問題・食事が高い等々、未だに話題に事欠かないが、結構面白い、意外と見ごたえがあるという声もようやく聞こえるようになってきた。会期は10月13日までであるので、皆さんの来場を心から待っている。見どころも、突っ込みどころも満載の万博に是非、足を運んでいただければ大変幸いである」と述べた。

められている。このような動きに対応されて組合におかれては経営改善・人材育成・労働環境整備の取り組みなどを積極的に行われており、役員や組合員の皆

さんの尽力に心より敬意を表する。北海道では次世代半導体の製造拠点であるとかソフトバンクの大規模なAIデータセンターの整備が進むなど、GX・DX産業の集積基地としての注目が、日本のなかでも高まってきている。そうしたなか残念な状況であるが米国の関税の引き上げがある。私、仕事で所管しているのが自動車産業という大変大きなところがあるが、こうしたものも含めて今後の道内経済の影響を大変懸念している。道では経産局と連携して経済・商工団体の皆さんからヒアリングなどをしていろいろと今の状況を把握しているところであるが、現状ではサプライチェーン全体での影響がなかなか見通せないということもあるが、先行きについても不安という懸念の声をよく聞かせていただいている。道としてはこういう状況を国に伝えながら必要な対策を求めているところで、今後も状況に応じて迅速に対応していきたいと考えている」と述べた。

次に、定数報告が行われ、議長に植平有治氏（植平印刷株式会社代表取締役社長・旭川支部）を議長に選出し、議長から議事録署名人に米澤正喜氏（小樽支部）と下國延彦氏（札幌支部）の2名を指名し、議事に入った。



第1号議案令和6年度事業報告について、第2号議案令和6年度決算（案）について、監査報告が一括上程され、議案説明のあと、細木俊明監事から会計処理・内容は適切である旨の監査報告が行われ、審議の結果いずれも原案どおり承認された。

令和6年度決算額は、収入総額が18,421,798円となり、当期純利益金額647,496円を計上し、令和6年度末（令和7年3月31日）の正味財産は、20,602,092円をなった。

剰余金処分案として、当期純利益金647,496円のうち特別積立金70,000円を処分額として、前期繰越剰余金13,932,596円と合わせ、14,510,092円を次期繰越剰余金とすることが承認された。

また、本部・支部合算の貸借対照表・損益計算書についても承認された。

第3号議案令和7年度事業計画（案）について、第4号議案令和7年度収支予算（案）について、第5号議案令和7年度組合員の賦課金額及び徴収方法の決定（案）についてと、審議の都合上、第6号議案を飛ばして第7号議案常勤役員の報酬（案）についてが一括上程され、審議の結果、いずれも原案どおり決定された。



令和7年度事業計画は、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、「印刷の月」行事の取り組み、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討、第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の開催準備を柱とした各種事業を、組合員企業の繁栄と発展のため積極的かつ強力に推進し、印刷産業がDXで世の中をより便利にするため、地域に根差し人々の暮らしを彩り、幸せを創る印刷産業として発展するため積極的に進めていくことが決定された。

令和7年度収支予算は、18,000,000円を計上した。

令和7年度組合員の賦課金額及び徴収方法は、売上額自主申告の20ランク制として、当月分賦課金を当月末までに所属支部の指定口座に払い込むことを決定した。

常勤役員の報酬は、原案どおり決定した。

第6号議案第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の負担金額及び徴収方法の決定（案）については、北海道情報・印刷文化典確認事項に基づき、負担金額を1社12,000円とし、徴収方法は所属支部の指定する期日までに所属支部の指定口座に払い込むことを決定した。

第8号議案令和7年度借入金の最高限度額（案）については、運転資金として500万円と決定した。

次に、定款第43条の規定により緊急議案の提案を行うことを議場に諮ったところ満場の賛成を得て、理事一人の補充選任を選考委員による指名推薦により選挙が行われ、理事に松井丈氏（株式会社北研社・オホーツク支部）が選出された。

次に報告事項に移り、令和6年度組合員の異動状況について、脱退組合員7社の報告が行われた。

以上で、総会の議事をすべて終了し、植平議長が降壇し、令和7年度通常総会を終了した。

北海道印刷工業組合 「令和7年度事業計画」が決定

北海道印刷工業組合の令和7年度事業計画が、5月16日開催の令和7年度通常総会において決定された。

I. 基本方針

北海道印刷工業組合は、これまで培ってこました事業の成果と実績を踏まえまして、本年度も「組織の拡大」、「広報活動の強化」、「未来を創る業界運動の展開」、「印刷の月」行事の取り組み、「共済事業への加入促進」、「福利厚生事業の実施」、「組織・財政状況の検討」、「第34回北海道情報・印刷文化札幌/小樽大会の開催準備」の8本を柱とし、印刷産業がDXで世の中をより便利にし、地域に根差し人々の暮らしを彩り、幸せを創る産業として存続しつづけ、組合員企業の繁栄と永続のため、各種事業を工夫を凝らし積極的かつ強力に推進・展開して参ります。

主な活動内容は次のとおりです。

組織の拡大では、組合組織の根幹となる組合員の加入増強に組合員各位の協力を得て推進して参ります。併せて、関連業者等との連携をより濃密にするため賛助会員の加入促進に努めて参ります。

広報活動の強化では、「北海道の印刷」ならびに「メールマガジン」を定期発行し、組合の活動状況や行政のうごき、全国的な業界動向、技術情報などを提供して参ります。

未来を創る業界運動の展開では、経営改善運動の推進、全印工連DX事業の啓発・推進、取引慣行改善運動の推進、人材育成研修会の開催、労働環境整備の啓発、環境保全適応の啓発、幸せな働き方改革の推進、メディア・ユニバーサルデザインの普及・啓発等に取り組んで参ります。

経営者研修会は、経営基盤の安定と確立、さらなる発展を図るために時宜を得たテーマで開催します。

人材育成研修では、オフセット印刷およびDTP技能検定の受検啓発、印力eラーニングの受講啓発等に努めるとともに、新たに営業マンのための生成AI研修会を開催して参ります。

経営改善、取引慣行改善、人材育成、小規模経営対

策、労働環境整備、環境保全適応、幸せな働き方改革、対外アピール、バリアフリーへの対応など各種事業を積極的に推進し、組合の事業の活性化ならびに社会への貢献に努めて参ります。

共済事業への加入促進では、全印工連の福利厚生充実のための共済と北印工組独自の組合員企業の経費削減の一助に資するための団体扱自動車保険・火災保険・給油事業の加入促進を積極的に推進するとともに新電力およびビジネス総合保険紹介事業の推進に取り組んで参ります。

「HOPE2025」は、出展者と来場者がコミュニケーションを図り、情報発信と学びの場としてより有意義に活用できるように努めて参りますので、多くの方々の来場を期待しています。

組合員のための福利厚生事業を継続実施して参ります。

組織・財政状況の検討では、早期に健全な財政状況を確立するため各種の検討を行い、対策を模索して参ります。

来年開催の第34回北海道情報・印刷文化札幌/小樽大会に向けての準備を進めて参ります。

本年度も組合員の連携を一層深め、印刷産業人と

して業界秩序を守り、高度情報化産業の一翼を担う自信と矜持をもって事業を推進して参りますので、是非、一人でも多くの組合員の皆さまに組合事業に積極的に参加いただき、情報を共有され、メリットを享受し、各社の持続的な発展・繁栄のための糧としていただきたいと存じます。

関係諸官公庁・各機関をはじめ、関連業界の皆さんのご理解とご支援をお願いし、組合活動の円滑な推進を図って参ります。

II. 実施事業

1. 組織の拡大

組合組織の根幹となる組合員の拡大運動を実施し組織率を高めるとともに、青年部の活動を活発にし、組合活動の活性化に努める。

また、賛助会員の加入促進にも努める。

(1)組合への加入促進

(2)賛助会員の加入促進

(3)青年部活動の活性化

①全青協北海道ブロック協議会・第31回北海道青年印刷人フォーラムの開催

②全印工連全青協への議員派遣

(4)関連業界との連携強化

2. 広報活動の強化

広報紙を定期刊行し、組合の活動状況や行政の動き、全国的な業界動向、技術情報などを広報すると

もにメールマガジンを発行し、情報化時代にふさわしい広報活動に努める。

(1)「北海道の印刷」の発行

(2)メールマガジンの発行

(3)ホームページの充実・活用

(4)「子どものまちミニさっぽろ2025」への出展

3. 未来を創る業界運動の展開

印刷需要の多様化、少ロット化、短納期化などの市場変化や経営管理のコンピュータ化、デジタル技術の進展等の環境変化に機敏に対応できる業界づくりを進めるため、経営改善、取引慣行の改善運動を進めるとともに、教育研修事業、労働環境の整備事業、環境保全への対応、幸せな働き方改革の啓発、DX事業の啓発・推進、経営管理電子化への取り組みを軸とする小企業経営対策などを積極的に推進する。

(1)経営改善運動の推進

①経営者研修会の開催

②CSRの啓発

③日本印刷個人情報保護体制認定制度（JPPS）の啓発、更新講習会の開催

④全印工連特別ライセンスプログラムの啓発

⑤全印工連人材採用支援特別プラン「イーアイデム」の啓発

⑥全印工連事業承継支援センター利用促進の啓発

(2)全印工連DX事業の啓発・推進

①経営情報システム「BRAIN」・「SP MULTI」の普及・啓発

②DX-PLATの啓発

(3)取引慣行改善運動の推進

①官公庁取引の研究

②官公需における知的財産権の財産的価値配慮の促進

③諸資材取引の研究

④全印工連クラウドバックアップサービスの啓発

⑤全印工連ログ監視装置「マイウォッチャー」の啓発

(4)人材育成研修会の開催

①オフセット印刷技能検定の実施

②DTP技能検定の実施

③「印カレ」利用促進の啓発

④印カレeラーニング受講の啓発

⑤印刷営業講座受講の啓発

⑥営業マンのための生成AI研修会の開催

(5)労働環境整備の啓発

(6)環境保全適応の啓発

①グリーンプリンティング工場認定の啓発

②環境経営印刷ネットワークの啓発

③環境推進工場登録の啓発

(7)幸せな働き方改革の啓発、推進

(8)メディア・ユニバーサルデザインの普及・啓発

①メディア・ユニバーサルデザインコンペの作品応募の啓発

4. 「印刷の月」行事の取り組み

印刷業界のイメージアップと社会貢献のため「印刷の月」行事を展開する。

(1)HOPE2025の開催

(2)各支部での取組の推進

5. 共済事業への加入促進

全印工連共済事業は、組合員の相互扶助の精神に基づいて組合員企業の福利厚生向上とともに各都道府県工組の財政に寄与することを目的に推進されており、周知を図り、加入促進を積極的に進めていく。併せてワンプライス中古車リース事業の周知を図る。

また、組合員企業の経費削減の一助として北印工組独自の共済である集団扱自動車保険事業、集団扱火災保険事業、集団扱給油事業の周知を図り加入促

進を積極的に進めていくとともに新電力およびビジネス総合保険紹介事業を推進していく。

さらに、新しい共済制度の研究、取り組みを進めていく。

(1)生命共済事業

(2)災害補償共済事業

(3)設備共済事業

(4)医療・がん・介護共済事業

(5)集団扱自動車保険事業

(6)集団扱火災保険事業

(7)集団扱給油事業

(8)ワンプライス中古車リース事業

(9)新電力紹介事業

(10)ビジネス総合保険紹介事業

(11)新共済制度の研究・取り組み

6. 福利厚生事業の実施

(1)組合員の慶弔金等

7. 組織・財政状況の検討

組合組織の活性化、合理化と組合財政の早期の健全化に向けての各種の検討を行う。

8. 第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の開催準備

令和8年8月21日開催の第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の成功に向けて諸準備を行う。

令和7年度上期北海道地区印刷協議会のご案内

北海道印刷工業組合は、令和7年度上期北海道地区印刷協議会を、6月27日午後2時から、札幌市中央区の札幌パークホテルで開催する。

北 海道印刷工業組合では、組合員へ事業のより詳細な紹介、濃密な情報の伝達等を目的に、北海道地区印刷協議会で、組合員と双方向の情報交流を行っている。

そのために、北海道地区印刷協議会で、組織活性化、経営革新マーケティング、教育研修、サステナビリティ・CSR、青年部の5委員会活動を実施している。

組合員ならびに賛助会員は、いずれかの委員会に参加いただき、対面式で活発なディスカッションを行っていただき、企業経営の永続・発展のための情報を共有いただきたい。

組合に加入しているメリットは、組合の事業に積極的に参加し、活用することから生まれ、享受が可能となる。

日 時 令和7年6月27日(金) 14:00～18:40

会 場 札幌パークホテル（札幌市中央区南10条西3丁目 TEL011-511-3131）

スケジュール

14:00～15:00 全体会議

①理事長あいさつ

北海道印刷工業組合理事長 岸 昌洋

②全印工連あいさつ

全日本印刷工業組合連合会会長 瀬田章弘 氏

③全印工連事業概況説明

全日本印刷工業組合連合会事務局次長 抜井諒一 氏

④全印工連令和7年度事業計画について

全日本印刷工業組合連合会会長 瀬田章弘 氏

15:10～16:10 分科会（委員会）

①組織活性化委員会

②経営革新マーケティング委員会

③教育研修委員会

④サステナビリティ・CSR委員会

⑤青年部委員会

16:15～17:00 総括会議

①分科会（委員会）協議内容発表

②理事長総括

③全印工連感想所見

17:10～18:40 情報交流会（懇親会）

業 界 の う ご き

▶オホーツク支部長に松井丈氏

オホーツク支部は、令和7年度通常総会を5月10日午後5時から網走市内の網走湖荘で開催し、伊藤正人支部長が退任し、新しく支部長に松井丈氏（株式会社北研社）を選任し就任した。

▶パラシュート株式会社社長に兼松祐二氏

パラシュート株式会社（札幌市白石区南郷通18丁目北1番7号 パラシュートビル）は、このたび、荒生猛社長に代わって、新しく代表取締役社長に兼松祐二氏が就任した。

▶北海道シール印刷協同組合理事長に吉田均氏

北海道シール印刷協同組合（札幌市中央区大通西18丁目2番28号 ファミール大通809号）は、このたび、渡辺俊二理事長に代わって、新しく理事長に吉田均氏（有限会社サッポロタック）が就任した。

「令和7年6月1日に
改正労働安全衛生規則が
施行されます」

職場における 熱中症対策の強化について

熱中症による 死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について

職場における 熱中症による死亡災害の傾向

- ・死亡災害が2年連続で30人レベル。
- ・熱中症は死亡災害に至る割合が、他の災害の約5～6倍。
- ・死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念。

ほとんどが
「初期症状の放置・対応の遅れ」

早急に求められる対策

「職場における熱中症予防基本対策要綱」や「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施要綱」で実施を求めている事項、現場で効果を上げている対策を参考に、

現場において

**死亡に至らせない
(重篤化させない)ための
適切な対策の実施が必要。**

基本的な考え方



現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者に義務付けられます。

- 1 「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

- 2 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ確かな判断が可能となるよう、
- ① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
 - ② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順(フロー図①②を参考例として)の作成及び関係作業員への周知

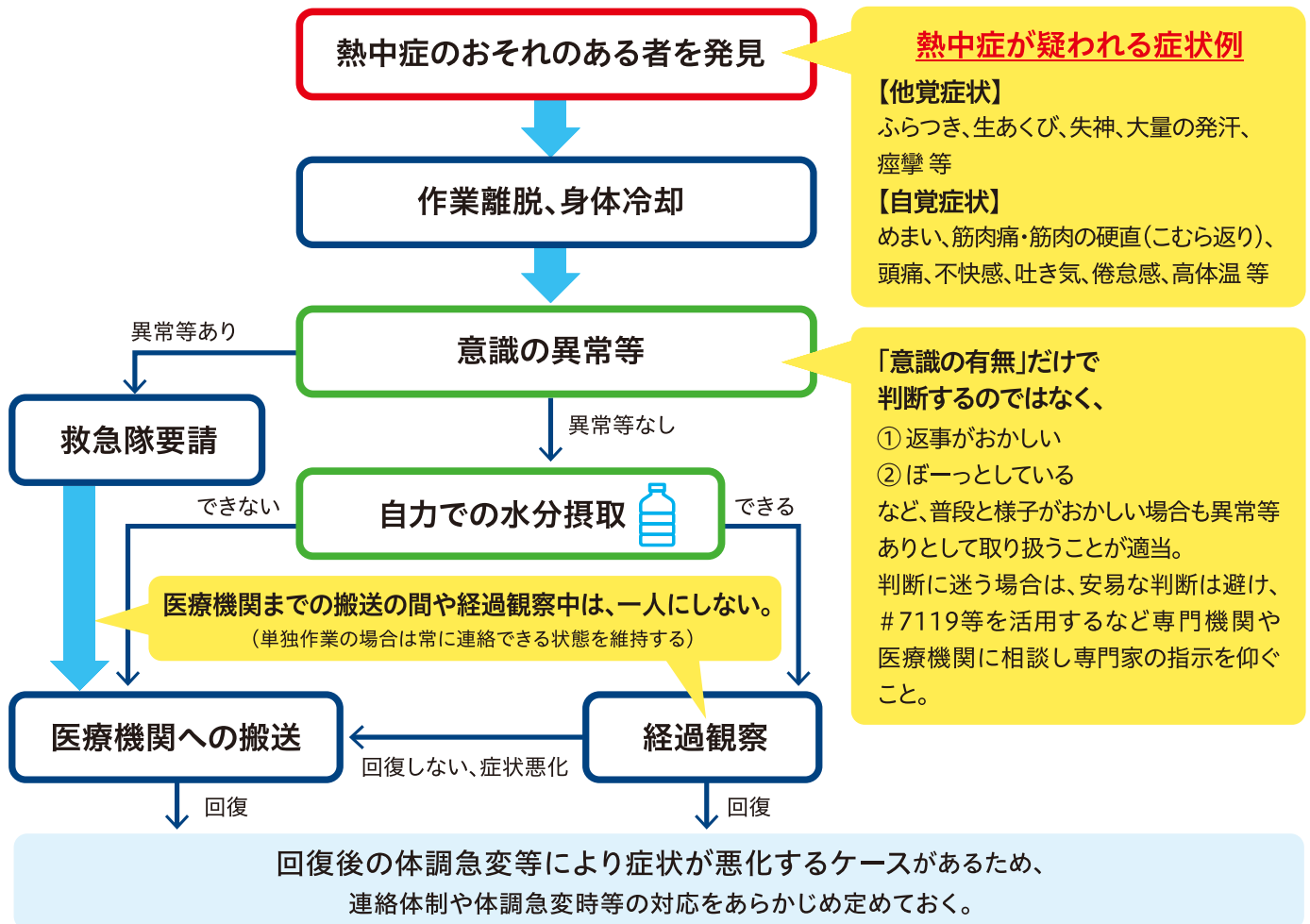
対象となるのは

**「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業**

※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応を推奨する。
※なお、同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講じることとする。

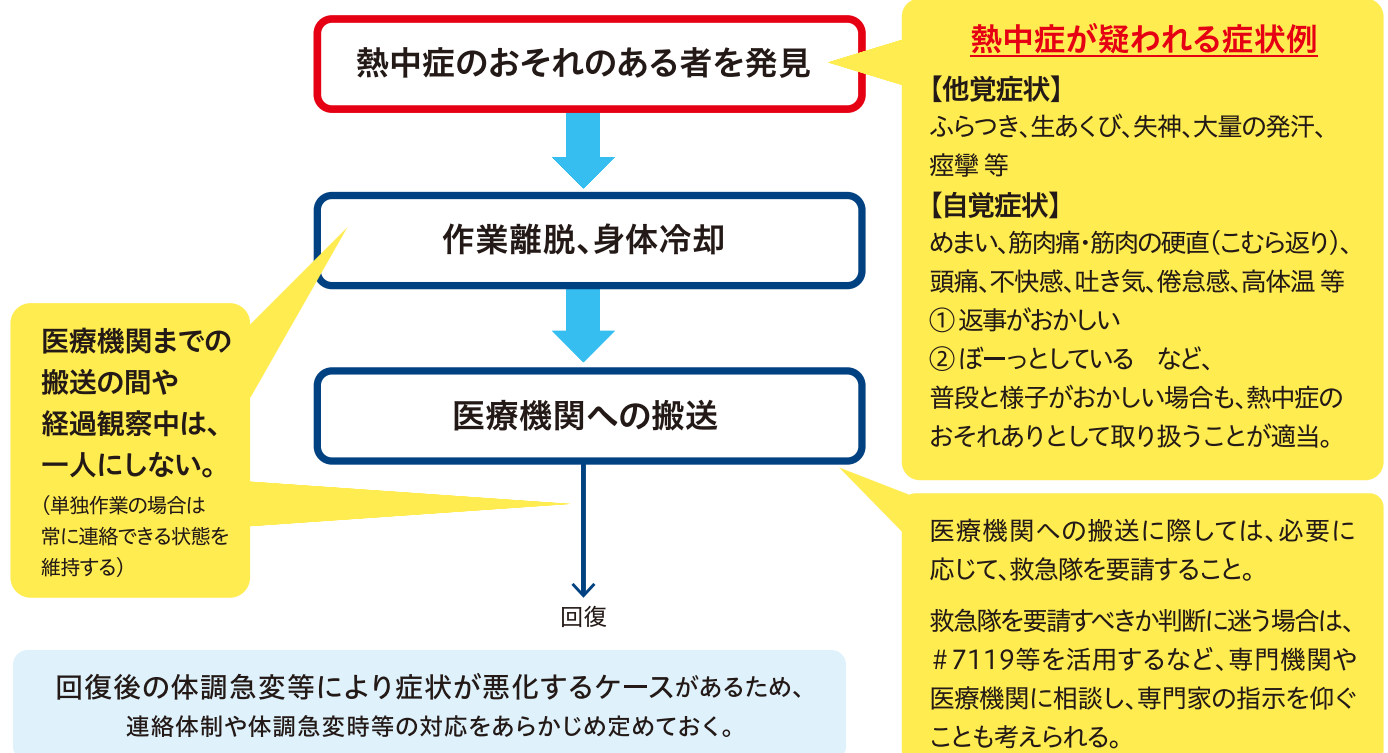
熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ①

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ②

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。





HOPE 2025

HOKKAIDO PRINT EXPO

テーマ



で 印 刷 価 値 創 出

～高付加価値コミュニケーションサービス産業へ～

日時

2025年9月3日水・4日木

10:00～17:00
(4日は16:00終了)

会場

アクセスサッポロ

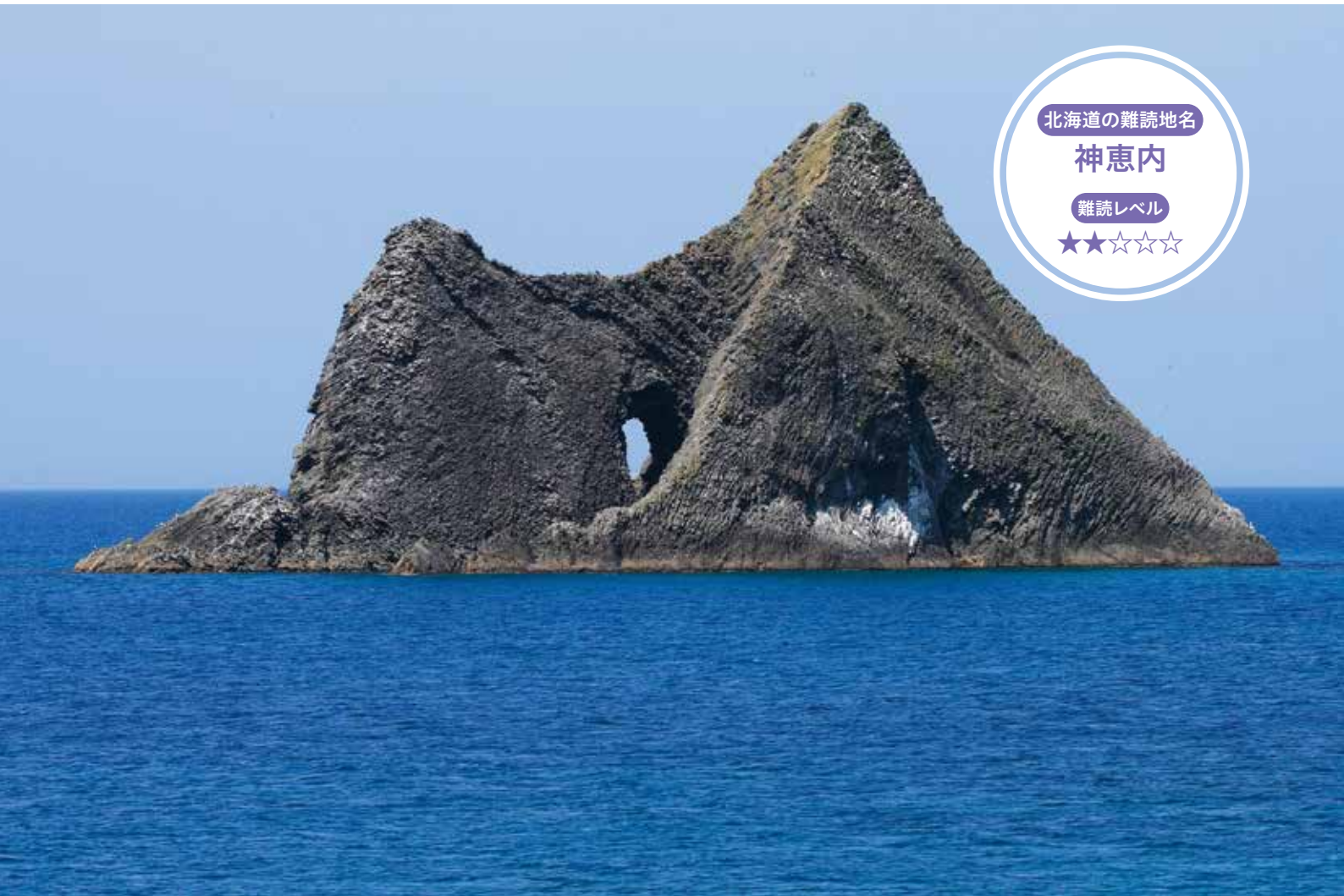
札幌市白石区流通センター4丁目3番55号

主催：HOPE実行委員会

北海道印刷工業組合／北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合／北海道製本工業組合／北海道フォーム印刷工業会／北海道紙器段ボール箱工業組合

後援：経済産業省北海道経済産業局／北海道／札幌市／北海道中小企業団体中央会／札幌商工会議所／一般社団法人北海道中小企業家同友会
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

協賛：株式会社印刷出版研究所／ニュープリンティング株式会社



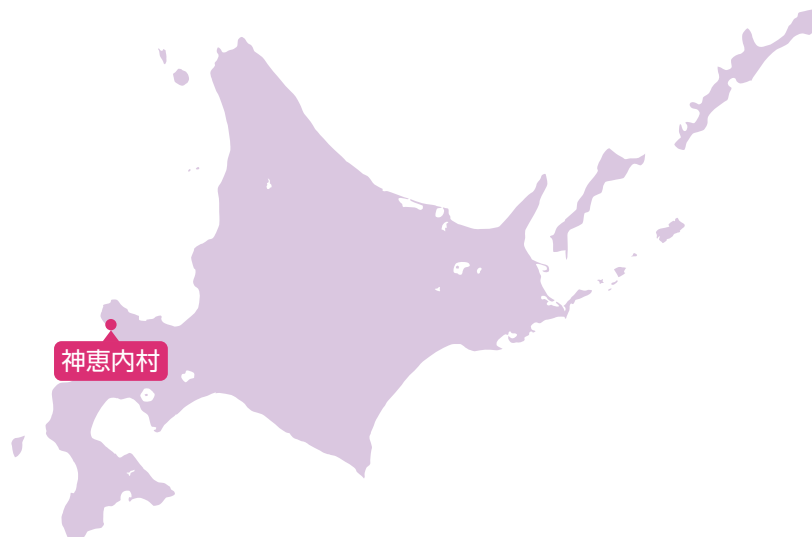
北海道の難読地名

神恵内

難読レベル

★★★★☆

奇岩「窓岩」（古宇郡神恵内村）



表紙の解説
神恵内（かもえない）
アイヌ語のカムイナイ「神・川」の意。この辺は昔はフルウであるが今は神恵内と呼ぶ。北から市街へ流れる長屋の沢がたぶんカムイナイであって、それがこの所の名として神恵内となり、大地名化したのであろう。そのカムイは場所柄、熊だったかもしれない。
参考資料：北海道「アイヌ語地名リスト」 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_timeilist.html

難読レベル	
★★★★☆	道外の方でも読める
★★★★☆	道民のほとんどが読める
★★★★☆	道民の半分くらいが読める
★★★★☆	道民でもほとんど読めない
★★★★☆	地域住民以外は読めない
※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。	